

「市長と市民が語る1000人集会（宮崎中学校区）」意見交換内容

日時：令和6年2月15日（木） 場所：宮崎地区交流センター 参加者：48名

NO	概要	ご意見要旨	市長回答要旨	担当課
1	まちなかの活性化について	まちなかの開発について、市がリーダーシップをとることで、加速化して進めてほしい。	まちづくり課を新設し、担当課が中心となって、まちなかの開発などについて、協議や検討をしている。まちなか投資倍増プロジェクトによって、土地利用等の規制緩和を打ち出すことで、民間の投資を促していきたい。	まちづくり課
2	災害時の障がい者支援について	災害時の障がい者支援について、施設や事業所職員も被災することから、支援する人員の確保が困難になる。行政としての支援を考えてほしい。	福祉避難所の人員体制も非常に重要なので、しっかりと配置ができるように考えていきたい。また、避難所運営については、日頃から自治会等の自主防災組織を中心に、地域と一緒に協力できる体制を築いておくことが非常に重要と考えている。	危機管理課 福祉総務課
3	老人クラブ活動について	老人クラブ活動で土地を利用する際の固定資産税の減免申請について、手続きが煩雑なので簡素化できないか。	固定資産税減免申請について、手続き方法も含めて、担当課に確認したい。  【担当課補足】 市税条例に基づき、土地所有者に対し固定資産税の減免を行っており、令和5年度に税の公平性担保の観点から、確認の周期や必要書類の変更を行った。認定要件等を確認する手続きであるためご理解いただきたい。	福祉総務課
4	宮崎市史編さんについて	宮崎市史編さん事業や市役所移転において、大量の資料や公文書等を適切に整理し、管理・保存するための公文書館をつくることはできないか。	現在の公共施設内で資料等の保管場所を確保した上で、必要があれば公文書館も検討していきたい。今後、新庁舎へ移転する場合でも、必要な文書は適切に整理、保存していく。	秘書課 総務法制課
5	子ども会活動について	子ども会加入率が年々低下している状況で、子ども会活動について、市はどのように考えているのか。	子ども会がやりたいこと、しようとしていることを市として応援していきたい。子ども会として、市に提案等があれば相談してほしい。	生涯学習課
6	地域自治区制度について	・ 穂地区は人口4万人以上いるが、穂地域自治区地域協議会等の地区割は変更されないのか。 ・ 地域自治区制度の廃止にあたり、予算はどのように地域まちづくり推進委員会に移していくのか。	・ 令和6年度で地域自治区制度は終了する。地区割りについては、現行の区割りでスタートし、各地域での議論を踏まえ検討していきたい。 ・ 地域まちづくり推進委員会の予算については、柔軟に使えるような工夫ができないか、令和6年に検討を進めていきたい。	地域コミュニティ課
7	公民館の名称変更について	4月から各地区の公民館が、地区交流センターに名称変更されるのはなぜか。	公民館や地区交流センターの担当課が分かれていたため、4月から教育委員会が所管する中央公民館以外を地区交流センターに名称統一し、地域振興部の所管とした。今後、地区交流センターを中心に地域まちづくりを支えていきたい。	地域コミュニティ課
8	自治会加入促進について	アパート入居者の自治会加入を促進するため、入居時に自治会にも加入するとはできないのか。	今後の自治会加入促進の検討会で、不動産関係者とも連携しながら、集合住宅の入居者が、地域の自治会に入りやすい仕組みができないか考えていきたい。	地域コミュニティ課
9	自治会加入促進について	自治会は若い人が少ないが、加入することで子どものいる家庭や高齢者の見守りもできて、災害時等の助け合いにもつながる。また、町内会費は防犯灯やその他の地域活動に使われていることを知してほしい。	自治会加入率の低下に危機感を感じている。今までとは違った取り組みを検討していきたい。	地域コミュニティ課
10	介護予防について	介護保険を使わないために、市民の介護予防を推進してほしい。	新たに介護予防手帳（いきいき手帳）を作成するので、それをきっかけに健康運動教室も含めて、様々な介護予防の取り組みを行っていきたい。	地域包括ケア推進課
11	青色パトロール隊の活動について	穂地区の青色パトロール隊は、いつも地域の安全のためにパトロールしており、日本のパトロール隊だと思っている。	日頃から穂地区の青色パトロール活動をしていただきありがとうございます。	地域安全課
12	交差点の安全確保について	昭栄町の信号機のない交差点で、重大事故を防ぐために、市道に「止まれ」等の白線を引くなどで注意を促すことができないか。	指摘いただいた交差点の状況を確認して、市で対応できるか検討したい。  【担当課補足】 ご要望の「停止線」や「止まれ」に関しては、公安委員会の管轄であり、既に県警担当者へ繋いでいる。公安委員会管轄以外の白線設置等について、市で対応できることがあれば検討します。	道路維持課

「市長と市民が語る1000人集会（宮崎中学校区）」意見交換内容

日時：令和6年2月15日（木） 場所：宮崎地区交流センター 参加者：48名

NO	概要	ご意見要旨	市長回答要旨	担当課
13	地区交流センターの利用について	4月から地区交流センター利用が有料化されるが、交流センターの窓口で、利用料の納付を現金で受け付けるなどの対応はできないのか。	要望内容について、窓口で納付できないか担当課に確認したい。  【担当課補足】 4月以降も利用料納付の窓口受付は継続するので、予約案内システム利用登録兼口座振込申込が難しい団体については、引き続き窓口での納付も対応していきます。	地域コミュニティ課
14	学校の環境整備について	学校の雰囲気良くするため、学校内に花を植えるなど、学校環境が豊かになるような施策はできないか。地域が学校と連携協力して取り組むこともできる。	トイレ改修や空調整備、施設管理の包括管理業務委託など、学校関係の環境整備を進めている。花壇等の植栽関係についても、地域と協力して、学校の雰囲気づくりできるといい。	教委・企画総務課
15	宮崎市のまちづくりについて	宮崎市のまちづくりについて、市長のビジョンを教えてください。	宮崎市はどうあるべきかを、市民の皆さんと対話しながら進めていきたい。また、移住者や外国人も含めて、市内外の交流を活性化し経済成長を促すため、外に開かれたまちづくりをしていきたい。	企画政策課
16	DX戦略について	DX戦略を今後どういった方針で進めていくのか。	デジタルに対応が難しい人のため、従来型のサービスを残しつつも、形だけのデジタル化でなく、市民生活に実感をもたらすような、地に足ついたデジタル化を推進していきたい。	デジタル支援課